

「今今と 今という間に 今ぞなく

今という間に 今ぞ過ぎ行く」

「世の中は 今日より他はなかりけり

昨日は過ぎつ 明日は知られず」

仏教系の句だったと思う。「今しかありませんよ」ということだろうと、私なりに解釈する。

明日はまだ先で、来るかこないかわからない。

昨日はもう戻ってこない。今日しかない。過ぎた一分は過去、今の一分が今、これからの一分が未来、過ぎた一秒は過去、今の一秒が今、これからの一秒が未来となると、未来と過去の接点が今ということになる。今は瞬間だ。

この瞬間の集合が私の一日、一か月、一年…、一生となる。今が大事と知らされる。それを踏まえて子どもの育ちに思いを馳せると、古の一句【好きこそものの上手なれ】をピックアップしたい。【好き】は「興味、楽しみ、熱中、没頭、夢中、真剣、自主的なもの、主体的なもの」、【上手なれ】は「幸せ」と解釈している。

老若男女 今、ここで「好きこそものの上手なれ」と活動している人は、すばらしく輝いている。とくに、人生の最終ステージまでそのスタイルできた人はすばらしい。積みあげた経験と知恵が自他ともに豊かにし、それぞれに芳醇な香りを放っている。

好きなことややっていれば、どんなことだって

苦勞とは感じない。学校の勉強が好きなら苦にならない。勉強は苦手でも、それぞれに生まれもった「好き」「得意分野」が必ずある。ムリすると、ろくなことがない。ムリして苦勞して、

不幸な将来は悲しいシナリオだが、よくあることだ。「苦勞しなければ幸せになれない」はホントなの？」と、アンチテーゼを示す人が最近

はできているか？ 主体的に遊びを見つけ、没

頭し、夢中に、真剣に活動していれば、その子は幸せの鍵をもっている。いや、今が幸せなのだ。そのまま行つてほしいと願う。

僕もまた、ワクワクの今、そしてこの夏をすごしたい。「好きこそものの上手なれ」の生き方で行きたいものだ。大人の場合は、いくつかの分野（仕事、家庭、地域、友だち、健康、趣味、

風

好きこそものの上手なれ

京都府城陽市・清仁保育園園長
辛川 誠

多くなっているのも頷ける。

子どもたちの日々は、「好きこそものの上手なれ」であつてほしい。そこで苦難を突破する力も培われる。そして、とても大事な「愛」や「自己」を肯定する思いも関連して育つのではなからうか。そして、常に自問する。

興味・関心が広がる環境づくりは十分か？
自らの遊び・課題を見つけて存分にできる保障

等)で自身の価値観に基づき、プロジェクトに

取り組む。それが面白いから、TVも見なくなつて久しい。僕が楽しんでいる(遊んでいる)姿を、子どもたちは横目で見ている。

子どもも大人も、「好きこそものの上手なれ」で今を生きる姿に大差はないのかもしれない。ところで…、みなさんの「好きこそものの上手なれ」、それは何ですか？